



## 2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年8月10日

上場会社名 白銅株式会社

上場取引所 東

コード番号 7637 URL <https://www.hakudo.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 角田 浩司

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 谷口 彰洋

TEL 03-6212-2811

四半期報告書提出予定日 2022年8月12日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	16,062	27.1	1,212	22.5	1,272	23.5	888	23.8
2022年3月期第1四半期	12,636	35.0	989	243.0	1,030	232.8	717	233.0

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,021百万円 (34.4%) 2022年3月期第1四半期 760百万円 (304.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	78.32	
2022年3月期第1四半期	63.27	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	43,540	20,091	46.1
2022年3月期	41,780	19,829	47.5

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 20,091百万円 2022年3月期 19,829百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		48.00		67.00	115.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		50.00		51.00	101.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	30,700	18.9	1,970	1.5	2,040	2.3	1,430	5.5	126.08
通期	62,100	12.0	3,970	6.7	4,080	6.7	2,860	3.5	252.16

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P8「(3)四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期1Q	11,343,300 株	2022年3月期	11,343,300 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期1Q	1,515 株	2022年3月期	1,515 株
------------	---------	----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期1Q	11,341,785 株	2022年3月期1Q	11,341,882 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	8
(追加情報) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### ① 売上高

売上高は、前年同四半期比27.1%増加し、160億6千2百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、製造業を中心に回復の動きが見られた一方で、新型コロナウイルス感染症は収束が見えない状況が継続しており、ロシア連邦によるウクライナへの軍事侵攻によりエネルギー価格の高騰、為替市場における急速な円安など、景気の先行きはより予測困難な状態となっております。

当社グループ業績に影響が大きい半導体製造装置業界は、IoTやDX、AIの推進などによる半導体需要を背景に拡大が続いており、設備投資は好調に推移しております。

その他、工作機械業界は、半導体不足の影響が懸念されるものの輸出向けを中心に受注環境は改善しております。一方で、航空機業界の設備投資は、依然として低調な状況が継続しております。

このような状況の中、当社グループは、政府等の要請やお客様の安全等を考慮し、在宅勤務・時差出勤の推進等による新型コロナウイルス感染予防策を継続的に実施しております。

顧客往訪や対面営業が制約を受ける中で、以前より当社が注力してきた24時間365日お見積り・ご注文可能なWEBサイト「白銅ネットサービス」の利用促進および「リモート営業」ツールの活用により、顧客サービス低下への影響を一定範囲に抑えております。

また、「白銅ネットサービス」の取扱商品数を2022年3月末の32,700品目サイズから2022年6月末には、33,700品目サイズへ拡充し、利便性の向上に努めました。

その他、連結子会社3社(株式会社AQR、上海白銅精密材料有限公司、Hakudo(Thailand)Co., Ltd.)の売上高は約2ヶ月続いた中国上海市の都市封鎖(ロックダウン)の影響を受けた上海白銅精密材料有限公司を除いて、前年同四半期を上回っており、好調に推移しております。

以上の顧客満足度の向上および事業規模拡大等の施策を着実に実行いたしました結果、売上高は、前年同四半期比で増加しました。

#### ② 営業利益

営業利益は、前年同四半期比22.5%増加し、12億1千2百万円となりました。

営業利益の主な増加要因は、売上高の増加に加え、売上原価率の減少および原材料市況の影響によるもので、前年同四半期の棚卸資産影響額の差益は1億4百万円でしたが、当第1四半期連結累計期間の棚卸資産影響額の差益は1億7千1百万円に増加しました。

棚卸資産影響額を除いた営業利益は、前年同四半期比で17.7%増加し、10億4千1百万円となりました。

#### ③ 経常利益

経常利益は、営業利益の増加により前年同四半期比23.5%増加し、12億7千2百万円となりました。

以上の結果、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同四半期比23.8%増加し、8億8千8百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりとなります。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

セグメント	売上高	営業利益 又は 営業損失(△)	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
日本	15,414百万円	1,184百万円	1,233百万円	856百万円
中国	357百万円	△ 11百万円	0百万円	0百万円
その他	290百万円	39百万円	39百万円	31百万円

#### ④ 当社を取り巻く環境

原材料市況は、電気銅建値がトン当たり2022年3月末の133万円から2022年6月末には118万円に下落し、アルミニウム地金(日本経済新聞月別平均値)もトン当たり2022年3月末の48万8千円から2022年6月末には42万2千円に下落しました。

一方、ステンレス鋼板(鉄鋼新聞月別中心値)はトン当たり2022年3月末の50万円から2022年6月末には60万円に上昇しました。

#### (2) 財政状態に関する説明

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、435億4千万円と、対前連結会計年度末比で17億6千万円増加しました。

流動資産は、353億4千4百万円と、対前連結会計年度末比で17億2千9百万円増加しました。増加額内訳は、受取手形及び売掛金13億8千万円、商品及び製品9億9千7百万円、電子記録債権2億1千1百万円等です。

減少額内訳は、現金及び預金8億7千2百万円です。

固定資産は、81億9千6百万円と、対前連結会計年度末比で3千1百万円増加しました。増加額内訳は、投資有価証券4千2百万円等です。

##### (負債)

負債合計は、234億4千9百万円と、対前連結会計年度末比で14億9千8百万円増加しました。

流動負債は、233億9千万円と、対前連結会計年度末比で14億8千6百万円増加しました。増加額内訳は、電子記録債務9億4千3百万円、未払費用8億8百万円、支払手形及び買掛金7億8千6百万円、その他1億4千1百万円です。減少額内訳は、未払法人税等7億2千8百万円、賞与引当金2億8千7百万円、役員賞与引当金1億7千7百万円です。

固定負債は、5千9百万円と、対前連結会計年度末比で微増となりました。

##### (純資産)

純資産は、200億9千1百万円と、対前連結会計年度末比で2億6千1百万円増加しました。増加額内訳は、利益剰余金1億2千8百万円、為替換算調整勘定1億6百万円等です。

自己資本比率は、前連結会計年度末の47.5%から46.1%となりました。

#### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、現時点で入手可能な情報に基づいております。

現時点において、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間および通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	8,674,821	7,802,770
受取手形及び売掛金	13,322,545	14,703,483
電子記録債権	3,687,848	3,899,604
商品及び製品	7,770,408	8,767,757
原材料及び貯蔵品	32,108	39,182
その他	154,456	161,897
貸倒引当金	△26,474	△29,787
流動資産合計	33,615,714	35,344,909
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,766,535	7,800,746
減価償却累計額	△6,129,659	△6,172,216
建物及び構築物(純額)	1,636,876	1,628,529
機械装置及び運搬具	7,776,485	7,893,349
減価償却累計額	△5,281,475	△5,417,672
機械装置及び運搬具(純額)	2,495,009	2,475,676
土地	1,899,876	1,899,876
その他	629,515	648,708
減価償却累計額	△563,279	△568,972
その他(純額)	66,235	79,736
有形固定資産合計	6,097,997	6,083,819
無形固定資産	509,318	514,766
投資その他の資産		
投資有価証券	944,065	986,365
繰延税金資産	428,919	416,593
その他	184,570	194,530
投資その他の資産合計	1,557,555	1,597,490
固定資産合計	8,164,872	8,196,075
資産合計	41,780,586	43,540,984

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,844,404	8,631,086
電子記録債務	10,808,557	11,752,039
未払費用	986,691	1,794,747
未払法人税等	1,145,670	416,807
賞与引当金	604,959	317,946
役員賞与引当金	213,634	36,500
その他	299,259	440,968
流動負債合計	21,903,177	23,390,095
固定負債		
繰延税金負債	466	469
長期預り保証金	15,150	15,150
退職給付に係る負債	10,735	11,095
その他	21,982	33,147
固定負債合計	48,334	59,862
負債合計	21,951,511	23,449,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	621,397	621,397
利益剰余金	17,739,890	17,868,242
自己株式	△1,878	△1,878
株主資本合計	19,359,409	19,487,761
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	150,395	177,664
為替換算調整勘定	319,269	425,598
その他の包括利益累計額合計	469,664	603,262
非支配株主持分	1	1
純資産合計	19,829,075	20,091,025
負債純資産合計	41,780,586	43,540,984

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	12,636,167	16,062,935
売上原価	10,263,499	13,261,740
売上総利益	2,372,667	2,801,194
販売費及び一般管理費	1,382,951	1,588,509
営業利益	989,715	1,212,685
営業外収益		
受取利息	1,870	3,263
受取配当金	27,729	6,705
不動産賃貸料	21,705	25,455
為替差益	—	25,902
その他	897	3,714
営業外収益合計	52,202	65,040
営業外費用		
不動産賃貸費用	3,882	4,121
支払手数料	125	125
固定資産処分損	300	394
為替差損	4,575	—
その他	2,406	436
営業外費用合計	11,290	5,078
経常利益	1,030,627	1,272,648
税金等調整前四半期純利益	1,030,627	1,272,648
法人税等	313,003	384,396
四半期純利益	717,623	888,251
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
親会社株主に帰属する四半期純利益	717,623	888,251

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	717,623	888,251
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	13,927	27,268
為替換算調整勘定	28,830	106,329
その他の包括利益合計	42,757	133,598
四半期包括利益	760,381	1,021,850
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	760,381	1,021,849
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法により計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

前連結会計年度の有価証券報告書の追加情報に記載した、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて重要な変更はありません。なお、当該見積りは現時点で入手可能な情報等を踏まえたものであり不確実性は高く、新型コロナウイルス感染症の収束時期やその他の状況の経過により影響が変化した場合には、上記の見積りの結果に影響し、翌四半期以降の財政状態、経営成績に影響を及ぼす可能性があります。